

生誕170周年
来日・来松
130周年記念

遊ぶ
学べる

ラフカディオ・ハーン 小泉ハ雲の生涯



ニューオーリンズ時代のハーン
写真：小泉八雲

小泉八雲の生涯を楽しく学べるすごろくです。
子どもの頃からごきごきまで、色々な国や日本各地
で何を食べて何を思ったのか小泉八雲になったつもり
でゴールを目指しましょう！

用意するもの
・サイコロ
・人数分のコマ
・知りたい！という
ワクワクする気持ち

スタート

1850年6月27日
ギリシャのレフカダ
島で生まれる
父はイギリス人・母
はギリシャ人
その後、父の実家の
あるアイルランドに
引越す

4歳
ハーンを残して母親が
ギリシャへ行く

7歳
ハーンを残して父親が
インドへ行く

16歳
遊んでいる
時にロープ
の結び目が
左腕に当たり
り失明する
1回休み

19歳
アメリカへ渡り、シン
シナティでジャーナ
リストとして通二
殺人事件を書いた記
事が注目され、名をあ
げる
1コマ進む

24歳
当時の法律
で禁止され
ていた黒人
女性と結婚
するが、2年
後に別れる

27歳
ニューオー
リンズに引
越すをする
クレオール
文化に惹か
れる

29歳
食堂「本景景
屋」をオープン
仲間と裏切ら
れ20日間で閉
店
1コマもどる

31歳
新聞社の文芸
部長となり、好
きなテーマで
記事を書ける
ようになる
1コマ進む

34歳
初めての本
『飛花落葉集』
を出版



35歳
博覧会で日
本の展示品
を見て心惹
かれる

37歳
取材のため、西
インド諸島に
渡り2年間通
二す
1回休み

39歳
『チータ』
出版
ハーン初の
小説



43歳
長男、一歳が生ま
れる
その後53歳ま
で、男の子2
人と女の子1
人が生まれる

43歳
セツの経緯を
知り、帰化(日
本人になるこ
と)について考
え始める
1コマ進む

41歳
約200人に
見送られセ
ツの家族と
共に出発す
る

11月
コレラが流行
し、学校が休
校となる
1回休み

10月
熊本第五高等中
学への転任が決まる
送別会が開かれ、別
れの品として日本刀や
花瓶を受け取る

8月
セツと協賛方
面へ旅行する
楽しみにして
いた益隣りが
中止と知る
1コマもどる

5月
門下生で「小
豆餅き機」や
「水筒を盗る
女」などの怪
談話を聞く

4月
大隈開通式
を自宅の二
階から見

1月
寒さのために
病気になる
看病と身の回
りの世話をし
てくれたセツ
と親しくなる

12月
印刷に興味
を持ち、自分
用の「へる
ん」の印刷を
作る

9月
出書大社を創
れる
外国人で初め
て中の見字を
許される
1コマ進む

8月
8月30日松江
に到着
尋常中学校の
教頭、西田千
太郎と親しく
なる

40歳
日本へ渡り、横浜・磯
谷などを見学する
松江で英語教師として
働くことが決まり
出発

1890

44歳
日本に来た
時の印象を書いた
『知られぬ日本の面
影』を出版

44歳
新聞記者とし
て神戸へ引越
しをする

1894

45歳
作家として生
きていくこと
を決め、新聞
記者を辞め
る
1コマ進む

46歳
日本へ帰化が認め
られる
名前を「小泉ハ雲」に
変え、これまで共に
通二してきたセツと
本家の夫婦となる
名前の由来は「古事
記」の和歌にちなむ

46歳
日本人の精神・
勇気・感情などを
書いた『心』を出版

46歳
家族ととも
に奥平山へ
旅行する

46歳
帝國大学(今
の東京大学)
の講師とし
て東京へ引
越す

47歳
親友である
西田千太郎
が病気のた
め亡くなる
1コマもどる

47歳
神楽の快楽へ家族と
別れ、海水浴を楽しむ
そこで出会った山口乙
吉の人格と清浄の海を
気に入り、毎年のように
訪れる
1コマ進む

1897

51歳
八雲の得意とする
ジャンルをまとめた
『日本雑記』を出版

53歳
生徒たちから
大学に残って
ほしいという
声もあったが、
大学を辞めさ
せられる

54歳
早稲田大学
に講師とし
て招かれる

54歳
『阿なし第一』『や』『愛おんな』な
ど名作を数めた代表作の一
つである『舞姫』を出版
1904年9月26日、セツに看
取られて心臓発作で亡くなる

54歳

参考資料

- ・小泉八雲事典(恒文社)
- ・文学アルバム 小泉八雲(小泉時・小泉凡 共編・恒文社)
- ・小泉八雲・松江(小泉凡 監修・社)松江観光協会)
- ・小泉八雲展 〔東京〕神奈川近代文学館・財団法人神奈川文化振興会)
- ・松江の俳人・大谷鏡石(日野徹之 著・今井出版)
- ・心 個人先訳 小泉八雲コレクション(小泉八雲 著・平川祐弘 訳・河出書房新社)



成人した子供たち
写真：小泉八雲



八雲が描いた風景画の複製(1900年)
題「TRIL-BCHO」(小泉一葉より複製)

ご協力いただいた方々 小泉家/小泉八雲記念館/八雲会

